

## ●寒い中にも少しずつ春の足音・・・

暖冬ということもあり、御所沼の水もいつもより凍結している日が少ないように感じる今年の冬。さっぱりと静かな公園の中に、鳥たちや植物の息づかいが感じられます。

### ○ 水辺や森、いろいろな種類の鳥たちを探してみましよう

■先月号でも紹介したカモの仲間、今年は何れも見かけない「キンクロハジロ」がいました。カルガモとは異なり、潜水が得意で貝などが主食です。飛び立つときには水面を助走するそうなので、ぜひその姿を見てみたいですね。

■公方様の森を歩いていると、「ココココ・・・」と小気味よい音が響きます。キツツキの仲間「コゲラ」が木をつつくドラミングの音です。その速さは1秒に約20回で、衝撃は1回毎に時速25kmで壁に頭をぶつける程だそうです。体の仕組みで上手く頭を保護しているとのこと。動物ってスゴイですね。



キンクロハジロ



コゲラ

●冬こそシャッターチャンス！？

■実は1年中公園で見られるカワセミ。冬の水面を飛ぶ鮮やかな姿は必見です。ぜひ撮影してみてください。

●こんな鳥にも会えるかも

■他の鳥の声やチェーンソーなどの音マネが得意なカケス。通常は「ジェー、ジェー」と鳴くそうで、そこから「ユーリアン・ジェイ」という英語名がついています。公園南側の☆日光山から駒ヶ崎の森にかけて、運がよければ、見られますよ。

●いろいろなパワーがある！？ニフトコ

■新芽が出始めた「④ニフトコ」。漢字では接骨木と書き、枝や幹を煎じて骨折治療の際に湿布薬として使ったことからその名がついたそうです。その他、葉を生薬として利用したり、魔よけとして飾るなど古くから日本だけでなく世界中で様々な利用がされたようです。また、ハリーポッターシリーズでは、最強の杖として「ニフトコの杖(エルダー・ワンド)」が登場します。やっぱりなにか不思議な力が宿っているのかもしれないね。



①ロウバイ

### ○ 冬から早春のお楽しみ

■公園では1月頃から咲き始める「①ロウバイ」。数は多くありませんが、半透明な淡い黄色の花に加えて、良い香りも特徴です。

■②御所の梅林には、紅白のウメが咲き始めています。まだ植えて2、3年の若木ですので、見ごたえはまだまだですが、早春の公園を彩ってくれています。赤色のものは紅梅と大盃、白色は白加賀と南高梅という種類です。一口にウメと言っても花の色や形、花びらの付き方などで300種類以上あると言われています。



②ウメ



### ●中に穴が！大丈夫！？

■こちらは「③ハコネウツギ (箱根空木)」という落葉低木です。管理のために剪定をしていますが、枝を見るとご覧の様に空洞になっています。これは異常ではなく、この種の特徴です。この様子から「空ろ木」が転じて「空木」となったそうです。花期は5～6月頃で、咲き始めは白で徐々にピンク、紅と色が変化していきます。



③ハコネウツギ

## ●寒さのピークは過ぎたようですが、春が待ち遠しいですね。てくてく情報、次号もお楽しみに！